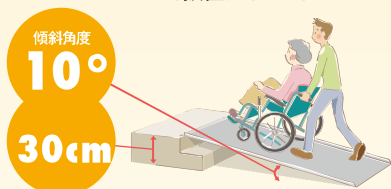


スロープについて

車いすの車種や車いすご利用者様の体重、介助する方の体力などの条件により、使用できる段差・スロープ傾斜角度には個人差があるため、設定が異なります。傾斜角度表などを参考にスロープ長さを選択してください。

基本の角度

例えば段差30cmに傾斜角度10度でスロープを設置したいとき



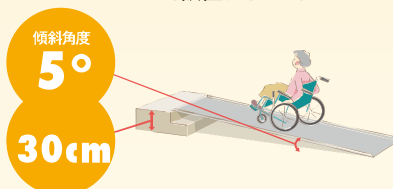
傾斜角度10度がスロープ角度の基本になります。電動車いすの自走はもちろん、介助の方がより楽に車いすを押しすることができます。

段差30cmの約6倍

1.8mのスロープ

自走用の場合

例えば段差30cmに傾斜角度5度でスロープを設置したいとき



ゆるやかな傾斜です。車いすに乗る方は、ほぼ自走で走行することができます。下りる時も加速がつきにくいので、余裕をもって走行しやすくなります。

段差30cmの約12倍

3.6mのスロープ

狭い場所に

例えば段差30cmに傾斜角度15度でスロープを設置したいとき



かなり急な傾斜になります。傾斜角度15度以上の使用はおやめください。電動車いすは車種によって登坂能力は異なりますので、ご確認ください。

段差30cmの約4倍

1.2mのスロープ

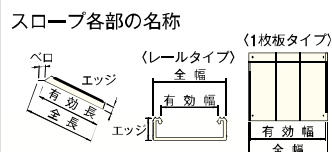
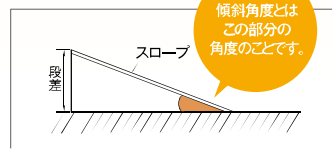
公共施設など常設スロープの場合には、傾斜角度4度未満がおすすめです。

※電動車いすは、スロープ上端部分が当たらないか確認してからご使用ください。

傾斜角度表 傾斜角度を目安にスロープの長さを決めてください。

段差高さ スロープの長さ	5 cm	10 cm	15 cm	20 cm	25 cm	30 cm	40 cm	50 cm	60 cm	70 cm	80 cm	90 cm	1.0 m
スロープ 40cm	7°	14°	22°										
スロープ 60cm	5°	10°	14°	19°									
スロープ 90cm	3°	6°	10°	13°	16°	19°							
スロープ 1.2m	2°	5°	7°	10°	12°	14°	20°						
スロープ 1.5m	2°	4°	6°	8°	10°	12°	15°	19°					
スロープ 1.8m		3°	5°	6°	8°	10°	13°	16°	19°				
スロープ 2.1m		3°	4°	5°	7°	8°	11°	14°	17°	20°			
スロープ 3.0m			3°	4°	5°	6°	8°	10°	12°	13°	15°	17°	19°

使用するスロープの長さや段差高さの変わったところがスロープの傾斜角度です。
(例) 段差30cmの場所に1.8mのスロープを利用した場合の傾斜角度は約10度となります。



※各スロープの有効長は多少異なります。表での角度はあくまで目安です。

※電動車いすの登坂能力はメーカーによって異なりますので、仕様書などをご確認ください。一般的に使用できる傾斜角度は最大15度程度までです。

※車いす及び車いすご利用者様の重さや介助者の体力により使用できる段差・角度には個人差があります。※スロープの常設により、杖歩行者などに影響を及ぼす場合があります。

※必ず介助者が付き添い使用してください。

スロープの種類 使用場所や用途に合わせて、スロープの種類を選択します。

レールタイプ

参照 P.26 ▶



- 持ち運びしやすい。
- 狭い場所でも使用可。
- 設置しやすい。
- リーズナブル。
- 伸縮タイプ・最長3mタイプもあります。

一枚板タイプ

参照 P.27-29 ▶



- ほとんどの車いすに使用可。
- 安定感があり介助の方も一緒に乗ることができます。
- 折りたたみタイプもあります。
- 床固定して住宅改修にも使用できます。

電車用タイプ

参照 P.29 ▶



- ずれにくいように電車のドアレールに引っかけることができます。
- 折りたたみできます。